我が家は楽し（1951）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 91分
初公開日 1951/03/21
公開情報 松竹

【解説】
田中澄江が自らの原案を柳井隆雄とともに脚本化し、中村登が監督したホームドラマ。笠智衆、山田五十鈴、高峰秀子、岸恵子らの好演が光る佳作。
植村孝作は妻と四人の娘を持ち、貧しいながらも楽しい日々を送っていた。孝作は勤続二十五周年を表彰されることになり、妻なみ子を相手に表彰式の準備に余念がない。表彰には金一封が出るので、なみ子はその金で次女の修学旅行費を出すつもりだった。しかし表彰式の帰り、夫婦二人で少しばかりの買い物をした後、残りの金をすべてすられてしまう。なみ子はそのことを家族には告げず、自分の服を売って金を工面した。さらに住み慣れた家からも立ち退きを迫られるが、娘の朋子が描いた絵がきっかけで、やがて事態は好転していく。

【クレジット】
監督 中村登
製作 小出孝
原作 田中澄江
脚本 田中澄江
柳井隆雄
撮影 厚田雄春
美術 熊谷正雄
編集 浜村義康
音楽 黛敏郎 Toshiro Mayuzumi
出演 笠智衆
山田五十鈴
高峰秀子
岸恵子
岡本克政
福井和子
佐田啓二
楠田薫
桜むつ子
高堂国典
増田順二
水上令子
青山杉作
南進一郎

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

奈良真養

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.